

# 玉井小だより

平成27年5月29日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

## 子どもたちが石拾いをしました

以前にもお知らせしましたように、幼稚園の北側の空き地を畑にする作業を進めています。地域の鈴木昭彦さんが土を掘り起こして下さったのですが、土に混じって石がいっぱい出てきました。

そこで、まず1年生が石拾いをしてくれました。そして、次の日は2年生が拾いました。バケツ何杯分も石を拾いました。

「昔の人は、こんな風にして仕事してたんだね。」

「ふうん。そうかあ。」

「大変だったんだね。」

2年生の子どもたちがそんな会話をしながら、石拾いをしていました。

何か新しい体験をすると、やはり心が動き、考えたり、感じたりするのだなと思いました。

その後、土曜日にも関わらず教育委員会の佐々木部長さんがトラクターで、もう一度耕して下さいました。決して広い畑とはいえないのですが、子どもたちや地域の皆様方のたくさんの思いがこもった畑になりました。

子どもたちに、早くサツマイモの苗を植えさせてあげたいなと思っています。

村役場の皆様が、畑の放射線量を測定して下さいました。最も数値の大きかったところでも0.069マイクロシーベルトでした。



【みんなで石拾い】



【こんなにたくさんの石】

## お知らせ



【校舎北側駐車場の様子】

現在、校舎北側の駐車場に埋められていた汚染土を掘り起こし搬出する工事を行っています。幼稚園の園庭の芝の張り替え作業もしています。この後工事用の資材や道具等を片付けて、6月初旬には工事が完了する予定です。

もちろん交通誘導員がついて児童の安全には細心の注意をはらっていきます。子どもたちへも工事車両へは近づかないように具体的に指導しております。

## 「人権の花」が育っています



【美しいペゴニアの花】



【大切に育てています】

5月18日、6年生がペゴニアやマリーゴールドなど「人権の花」を植えました。村の人権擁護委員の伊東正隆さんと伊藤由美子さんに来ていただき、ご指導をいただきました。伊藤由美子さんからは、自分からあいさつをすることで友だちと心が通じたという素敵な体験を話していただきました。

「人権」とか「尊厳」というと、難しそうな気もしますが、そんなことはありません。

「人権」とは、人間が人間として生まれながらに持っている権利のことです。自分も他の人も人間として大切にすることです。どの子も区別なく同じように大切にされなければなりませんし、文化の違う他の国の人とでも、お互いの文化を尊重し合い、仲良くかかわることが出来なければなりません。

それは、今、最も求められているグローバル時代を「生きぬく力」であるともいえます。

6月末には、昨年も本校で勉強したスウェーデンのアーリングル未萌さんが来ることになっています。夏休みを日本で過ごすために来日します。今年も1学期末まで本校に通う予定です。スウェーデンの子どもたちの様子や文化を知る絶好の機会です。

みんなで、優しい気持ちでお迎えしたいと思っています。

### 編集後記

プールの西側の畑にはジャガイモの花がきれいに咲いています。そして校舎の3階の屋根の下ではツバメが巣作りをはじめました。7センチくらいの藁のような物を1本ずつ運んで、器用に巣に差し込んでいきます。黄色いくちばしの雛の姿が見られるのももうすぐです。大玉村の初夏といった感じです。

先日、朝の登校指導を終えて学校に戻ろうとしているとき、学校の前の畑で作業している方に

「おはようございます。お世話になっています。」とあいさつをしたら、

「キャベツもっていかないかい？」と言われました。

「これから仕事なので……。」と野菜はいただきずに学校に戻りましたが、何ともいえず、あたたかい気持ちになりました。

このような地域の方々に見守っていただき、支えていただいて、学校は安心して教育を行うことができます。



【美しいジャガイモの花】